

■□要旨■□

1. 常識とは

一般社会人が持つ共通認識であり、企業にとって必要なものとは限らない。勤続10年にもなると自分の意見を言わなくなる。常識を持つと先入観を持ち、新しいことへの「気づき」がなくなる。

2. 理解すべきこと

企業戦略やマーケティング、ファイナンス、専門的等知識は、最低限の知識があれば何とかなる。
大切なのは「企業理念」を理解すること。本質を究めることを何よりも優先する。

3. 一流企業が素晴らしいとは限らない

大塚製薬の変遷を見てみると、昔、会社は三流、社員も三流だったが、常に社員の目は外向きだった。売上げを伸ばし、会社が一流、社員も一流になった頃からは社員の目は内向きになり、企業の発展のためのベクトルが本来あるべき姿と変わってしまった。内向きの目は企業を衰退させる。企業が発展するためには全体が外向きの目を持つ必要がある。

4. 意識改革(やるべき1つの理由>できない100の理由)

常識にとらわれると、できない理由から考えてしまう。常識にとらわれることなく、やるべき理由を考えたうえで行動を起こす意識が必要。そのためには、「企業理念」という本質を理解していないといけない。また、成功と失敗は対極ではない、「成功」の反対は「成功しない」であり、「失敗」の反対は「失敗しない」である。成功のためには、**大胆な仮説(信念)を実証するバイタリティを持つことが必要になる。**

5. リーダーシップ

「ビジョンを明確にする」「社員のモチベーションを上げる」ことが重要。それよりも重要なのは**「変えられるものにエネルギーを集中させる」**こと。

変えられるもの：自分/思考/行動/未来

変えられないもの：他人/感情/生理反応/過去

例えば、他人は変えられないが、自分が変わることによって相手(他人)の態度を変えることも可能である。できないことに心血を注ぐのではなく、変えられることに集中することで周囲を変えることも可能になる。

6. リーダーに求められる資質

経営力と人間力が挙げられる。特に人間力の中でも「私心のなさ」「品格」は重要と考えるべき。経営力は学ぶことができるが、人間力には教育プログラムはない。修羅場の経験度が一番の糧となる。

■□今回の学び ひとことという■□

成功を勝ち取るためには、企業理念を徹底的に理解し、大胆な仮説を持って自ら行動すること。



■□感想■□自分が変わることによって、周囲(他人)を変える(変わる)ことができる点は、特に共感し、また自分自身にできていない点だと痛感しました。自分を変えることは相当な信念を持って臨まなければ周りから見透かされてしまいますが、実現できればその先にある未来を変えることができる。バイタリティが必要になるが、辛いことを乗り越えてでも乗り越えるべきだと感じました。